

胃内視鏡(胃カメラ)問診票

患者氏名

様

胃カメラを安全に受けて頂くために以下の質問にお答えください。

- 胃カメラを受けられた事がありますか？
初めて / 何度か受けた事がある / 何度も受けている
- どの方法を希望されますか？
口から / 鼻から / 細いカメラを口から
- 鎮静剤は希望されますか？
希望する / 希望しない
- 過去に麻酔の注射などでアレルギーが出たりショックになったりした事がありますか？
ない / ある
- 他の薬剤でアレルギーが出た事がありますか？
ない / ある → (薬品名:)
- 胃の手術をした事がありますか？
ない / ある → 全摘をした / 一部を切除した
- 血液を固まりにくくする薬を飲んでいますか？
ない / ある → (薬品名:)
- 糖尿病のお薬をもらっていますか？
ない / 飲み薬のみもらっている / インスリンを使用している
- ピロリ菌の検査をした事がありますか？
ない / 陰性だった / 陽性だった
- 陽性だった方は除菌されましたか？
除菌し陰性確認済 / 除菌したが陰性確認はしていない / 除菌したが不成功 / 除菌していない
- お酒は飲めますか
飲まない / 機会があれば飲む / 毎日飲む / かなり飲む
- お酒を飲むと顔が赤くなりますか
なる / ならない / 昔なっていたが今はならない
- 鎮静希望の女性の方にお尋ねします。
妊娠の可能性ある→ ある / ない
妊娠中もしくは授乳中である→ はい / いいえ

胃内視鏡検査（胃カメラ）のご案内

■検査予約日時 年 月 日（ 曜日） 時 分

- ・検査中はカメラから空気が入りますのでお腹まわりの締め付けのゆるい服装でお越しください。
- ・唾液や色素液が付着してしまう場合がございます。汚れが目立ちにくい服装でお越しください。
- ・アクセサリーは外して頂きます。口紅はお控えください。
- ・本用紙、問診票、説明同意書をお持ちください。
- ・診察券、保険証、お薬手帳もお持ちください、お薬の内容によって当日組織検査ができない場合もございます。

■前日

- ・午後 9 時以降、絶食です。飲水は寝るまでは通常通りで結構です。
- ・休薬をお願いしたお薬以外は通常通り内服してください。

■検査当日

- ・朝は絶食です。水分(水・お茶・スポーツドリンク)も最低限としてください。
- ・休薬をお願いしているお薬以外は朝 6 時までにお飲み下さい。粉薬はなるべく検査終了後にお飲みください。
- ・糖尿病のお薬は当日朝休薬して下さい。血液を固まりにくくするお薬は医師の指示に従ってください。
- ・検査開始時刻の 30 分前までに当院にお越しください。

■検査後

- ・検査終了後 1 時間程は喉の麻酔が効いています。唾液はなるべく飲み込まないようにし、1 時間後に少量飲水し、ムセがなければ様子を見ながら飲水や食事を再開してください。
- ・組織検査をした場合は当日の飲酒や刺激物、長風呂、激しい運動は避けてください。
- ・鎮静剤を使用した場合、30～60 分休んでからご帰宅頂きます。
- ・鎮静剤を使用した場合当日の運転は自転車を含めできません。公共交通機関やタクシー、ご家族のお迎えでお帰りください。
- ・休薬をお願いしていた薬がある場合は検査後再開時期をお伝えします。

胃内視鏡検査（胃カメラ）説明書・同意書

■目的

・食道・胃・十二指腸の観察および診断のため組織検査等を行います。

■方法

- ・口から通常の太さの内視鏡を入れる方法、鼻から細い内視鏡を入れる方法、口から細い内視鏡を入れる方法があります。
- ・胃内の泡や粘液を落とす薬を飲んで頂き、検査方法に応じて喉や鼻の麻酔をします。
- ・ご希望に応じ鎮静剤を使用して、うとうとした状態で内視鏡を挿入します。
- ・表面構造をよく観察するために色素液を胃内に撒いたり、組織検査を行う場合があります。
(持病や、飲まれているお薬によって組織検査ができない場合があります。)
- ・検査時間は 5 分～15 分程度です。

■危険性・偶発症

- ・麻酔薬、鎮静剤等によるアレルギー、ショックとなることもあります。
- ・胃内視鏡検査に伴う偶発症の発生頻度は、0.005%と頻度は少ないですが、出血や粘膜が裂けたり、穴があいたりといった危険性があり、死亡例は0.0002%と報告されています。
- ・細心の注意を払い検査を行いますが、合併症・偶発症が起こる可能性はあります。
状況に応じ最大限対処させていただきますが、入院や手術が必要となる場合もございます。
その際の医療費は患者様御負担となりますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

■鎮静剤の使用

- ・検査前に点滴を開始し、点滴ルートより投与します。
- ・アルコール多飲者や抗不安薬を飲まれている方など効きにくい方もいます。
- ・ご高齢の方や血圧が低い場合など十分な量の鎮静剤を投与できないことがあります。
- ・薬剤アレルギーや血圧・脈拍の低下、呼吸数の低下・呼吸停止、検査前後のことを忘れてしまう事、血管炎などの危険性があります。鎮静剤投与による偶発症発生率は0.0013%、死亡率は0.000024%とされています。
- ・検査当日は車、バイク、自転車などの運転は控えてください。高齢の方やお体の不自由な方は、ご家族の同伴または送迎をお勧めします。

私は、上記内容の説明を受け理解しましたので胃内視鏡検査を受けることに同意します。

年 月 日

患者氏名

親族・代理人

続柄()

うつぼや町クリニック